

山イモ の 育て方

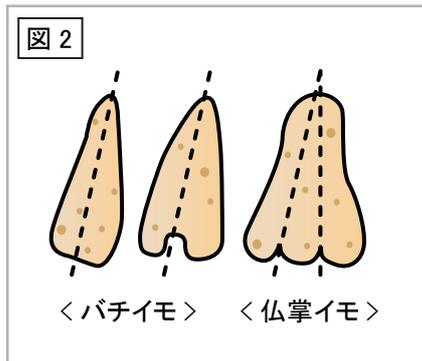
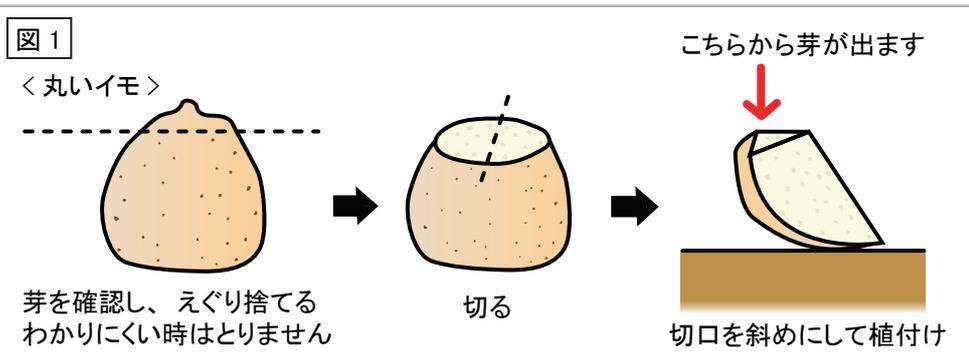
植付け時期…… 4月中旬～5月上旬
 収穫時期…… 11月中旬～翌年2月
 性質…… 日当たりと水はけの良い地を好みます。
 連作は嫌うので2～4年で場所を変えます。
 栽培のコツ…… 乾燥に弱いので夏場は敷きワラをし、
 こまめに水やりを
 行います。



山イモの切り方と芽出し

○下記以外のイモは、通常切らずにそのまま植付けます。
 ○加賀丸イモ・丹波イモなど丸型で大きな種イモは大きな芽が1つあるので、図1のようにその芽をえぐり取ってから(大きな芽が分かりにくい場合は取らなくても大丈夫です。)1個あたり50～60g以上になるように切り、日陰で2～3日しっかりと切り口を乾燥させておきます。

○バチイモ・仏掌イモは種イモが大きい場合、図2のように切り分け、同じように切り口を乾燥させます。



発芽について

山イモ(特に丸型の山イモ)は植付け時、芽が出るまでに雨が降ったり、肥料が多かったり、寒さに合うと芽が出なくなるので、あらかじめ芽出しをしてから畑に植付けたほうが、失敗も少なくなります。

貯蔵

乾燥しないようにし、2～5℃で貯蔵します。

ムカゴの養成

秋にできるムカゴは1年か2年畑で養成するとタネイモを作ることができます。



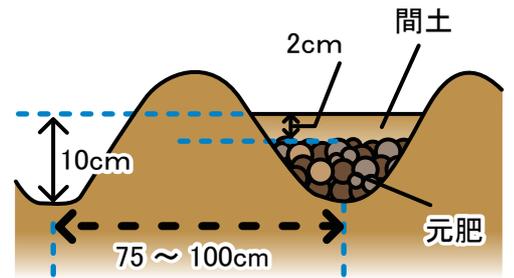
育て方

1. 植付け半月前

1m² あたり1握りの苦土石灰をまいて全面を掘り起こします。

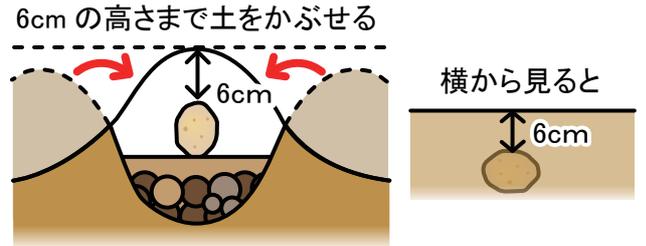
2. 植付け1週間前

畝を作り溝に元肥(1m² あたり、堆肥バケツ1杯と配合肥料10握り)を入れ、その後、種イモが直接肥料に触れないように2cmの土を戻しておきます。



3. 植付け

種イモ、または芽出しをした種イモを30cm間隔で植え付け、6cm覆土します。



4. 芽かき

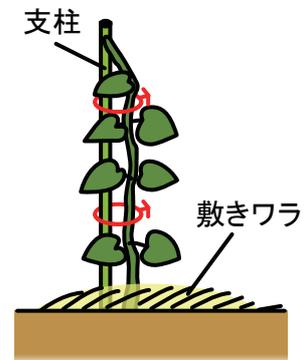
芽が何本も出た場合、1本にしぼります。

5. 追肥

芽が伸び出した頃に1回、8月中に2回、配合肥料を一株あたり大さじ一杯ほど、株間に施します。

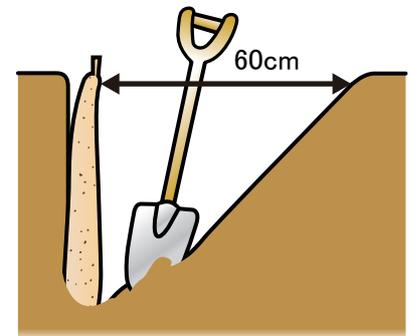
6. 支柱立てと敷きワラ

つるが良く伸びるため、支柱を立てて巻きつかせます。夏の乾燥に弱いので、敷きワラをし、こまめに水やりを行います。



7. 収穫

長いイモの場合は、下の方を折らないように深く掘り下げ、収穫します。



60cm 程 離して掘り始める

